

あいちロボット産業クラスター推進協議会 第6回委員会の論点整理

第5回委員会(H30.3.20開催)の主な意見

1. 開発者と利用者との協働体制の構築

○ 大学等の研究開発した技術等を関連企業へアピールする機会の仕組みが必要。

2. サービスロボットの研究開発や実用化の促進

- ロボティクススマートホームにおいて多くの成果を残すことができる手応えがある。
- サービスロボットは進化の過程のため、開発に対する財政的な支援があると良い。
- 農林水産分野での活用に向け、屋外・全天候での使用に耐えるロボットの開発支援、安全性確保等のルール作り等が必要。
- 2018年度からの「みちびき」の本格的運用により、測位誤差が飛躍的に向上。高度なロボット制御・運転が可能となる。

3. サービスロボットのユーザーの創出

- 人と共存できるロボットが活躍できるインフラ・法令両面での整備を行政に期待する。
- 無機質な印象を払拭し、温かみを感じられるデザインや素材の活用が必要。
- ロボットの数の増加に備えるため、インフラとして5Gの整備を政府主導で行う必要がある。

4. 人材育成

- 中小企業へのロボット導入を進めるためには、システムインテグレータやロボットの知識を持ったオペレーターの育成が重要。
- リスクアセスメントにおいて、講習会の次のステップとして、人材確保の質と量の拡充が必要。

5. ワールドロボットサミット (WRS)

- 愛知県におけるロボットの先進的な取組や活用事例を積極的にアピールすべき。
- ルールやロボットのレベルが分かりやすい競技づくりやテレビ、ネット配信、有名人の起用などによる宣伝が必要。
- 空港島や国際展示場にロボットを実験的・先導的に導入・活用し、「ロボット先進県・あいち」の拠点としてはどうか。
- 戦略的な広報活動が必要。開催前から見学ツアー等により、ロボット産業の集積を内外にアピールすべき。

平成30年度 取組実績 (平成31年2月末時点)

1. 開発者と利用者との協働体制の構築

- (1) あいちロボット産業クラスター推進協議会の運営
協議会会員数：494社・団体（新規加入41社・団体）
▷ 総会：5月30日開催（参加者数：148名）
▷ ワーキンググループ：9回開催（参加者数：延べ307名）
- (2) あいちサービスロボット実用化支援センターの運営
・ 利用実績：相談件数68件、見学者数357名

2. 研究開発や実証の促進

- (1) 知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅡ期
・ 次世代ロボット社会形成技術開発PJ：7件
- (2) 新あいち創造研究開発補助金による支援
・ 採択件数：全82件のうちロボット分野5件
- (3) サービスロボット実用化支援補助金による支援【新規】
・ 採択件数：8件
- (4) 安全技術開発の支援
・ リスクアセスメント研修会 参加者数：29名
- (5) ドローン等の実証実験場の提供
・ 利用実績：延べ22社、85回
- (6) リハビリ遠隔医療・ロボットプロジェクト
・ 医療機関での実証実施

3. ロボットユーザーの創出・情報発信

- (1) 介護ロボット出張デモ
・ 件数：7件
・ 成果：介護施設2施設が介護ロボット試用
- (2) 産業用ロボット導入支援研修の実施
・ 全14日間（参加社数：20社）
- (3) 展示会への出展
・ H.C.R2018（10/10～12@東京ビッグサイト）
・ CEATEC JAPAN2018（10/16～19@幕張メッセ）

4. 人材育成

- (1) 安全技術開発の支援(再掲)
- (2) 産業用ロボット導入支援研修の実施(再掲)
- (3) SlerをテーマとしたWGを3回開催(再掲)

5. ロボット国際大会の推進

- (1) WRS開催に向けた気運醸成
▷ プレ大会WRS2018へ出展(10/17～21@東京ビッグサイト)
▷ ロボット見学バスツアーの開催(参加者：240名)
▷ WRS開催記念「Aichiロボットフォーラム」の開催(参加者：649名)
- (2) ロボカップアジアパシフィック大会(RCAP)の招致
・ 平成30年12月27日に愛知県開催が決定
・ 招致委員会を設立(平成31年3月22日)

平成31年度 取組計画

1. 開発者と利用者との協働体制の深化

- ▷ あいちロボット産業クラスター推進協議会の運営・PR
- ▷ あいちサービスロボット実用化支援センターの運営

2. 研究開発や実証の促進

- ▷ 知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期
- ▷ 新あいち創造研究開発補助金
- ▷ サービスロボット実用化支援補助金 等

3. 近未来技術社会実装支援【新規】

- 介護・リハビリ支援ロボット、無人飛行ロボット及びサービスロボットにおける社会実装支援。
- ▷ 介護・リハビリ支援ロボットの開発・実用化に向けた支援体制の構築
- ▷ 無人飛行ロボットを活用した荷物輸送の実証実験
- ▷ サービスロボットの中部国際空港等の施設での導入に向けた実証実験と、“ショーケース”としての活用状況の披露

4. 人材育成

- ▷ 安全技術開発の支援(再掲)
- ▷ 産業用ロボット導入の支援(再掲)
- ▷ IoT人材育成の支援【新規】

5. ロボット国際大会の開催準備

- WRS及びRCAPの準備及び気運醸成
- ▷ 「ロボット国際大会推進室」の新設
- ▷ あいちロボカップAP2020の開催計画の策定
(RCAPを中心に展示会、ロボット教室、エクスカージョン等を開催)
- ▷ イベント開催、県外展示会出展、WEBサイト等による広報
- ▷ 競技に参加する県内チームの強化支援
- ▷ レガシーとなるロボット競技会の構想検討

第6回委員会の論点

1. ロボットの社会実装について

介護・リハビリ支援ロボット、無人飛行ロボット及びサービスロボットにおける社会実装に向けた課題・方策

2. ロボット産業人材の育成等について

ロボット産業に携わる人材の育成・確保に関する課題・方策